

<平成26年 第1回定例会より>

熟年者の孤立化防止対策を!

かねてより、町会役員の方からご意見を頂いておりました。「ひとり暮らしの熟年者が、地域の中で更に増えていく事は間違いありません。今後とも、孤立化防止対策の充実を急いでほしい。」とお声でした。私も全く同感です。

この声をカタチとするため、区議会公明党は孤立化防止対策について第1回定例会で質問いたしました。

多田区長からは「急速に増加する高齢者は元気な方も多い。そういう方々に地域の福祉と安全安心のために力を出して欲しい。『共助』を風土として作っていくことは大切であり、そのような地域体質を構築することが課題である。そして、この共助を住民の自覚として取り組める社会を実現していくことが必要である。これからの高齢社会に向けて議論するため、秋ぐらいには素材を提供したい。」との答弁。

私は、熟年者の皆さんが安心して暮らせる街を目指し、今後とも全力で取り組みたいと思っております。



街のホットニュース

江戸川区医師会

夜間・休日急病診療所(内科小児科)は新しい場所に移転しました。

江戸川区西瑞江5-1-6

江戸川区医師会 地域医療支援センター1階

電話/03-5667-7775



夜間 / 午後9時～翌朝6時
日曜・祝日 / 午前9時～午後5時

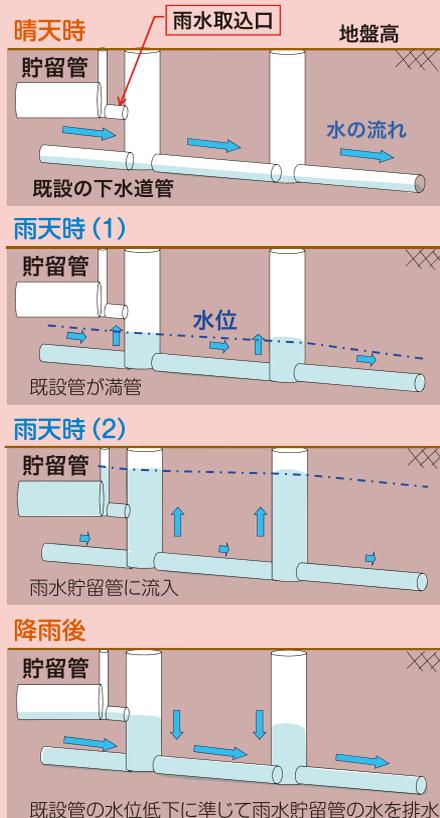
- 最寄り駅
都営新宿線「一之江駅」から徒歩8分
- バス停
都営バス「葛西工業高校前」から徒歩3分
(新小29・29-2 / 臨海28甲・乙)

本設計の雨水貯留管は 流下型貯留管

ポイント①
雨水貯留管は既設の下水道管より高い位置で布設

ポイント②
貯留管の手前に雨水を取込用の管を設置(φ450mm)

ポイント③
雨水を早く取り込むのではなく、オーバーフローした最後の部分を貯留管に取水する



●構造説明 / 雨水貯留管の雨水取込方法

現在、この被害を防ぐため、区道286号線に貯留管の埋設工事を行っています。場所は、中央2丁目公園から八蔵橋交差点まで。延長438m、貯留量950トンの能力を持つ設計です。平成26年度中の完成を目指しています。

冠水被害から街を守る 貯留管の整備

中央1丁目から2丁目地域では、台風時に、下水道の能力である1時間50ミリを超える降雨により冠水被害が発生していました。